

報じられない中国船の尖閣渡航

中国船の尖閣諸島周辺の渡航状況（令和以降）
接続水域入域：118日、のべ473隻
領海侵入：12日、のべ46隻

	接続水域入域	領海侵入
5月	31日（132隻）	4日（14隻）
6月	29日（99隻）	2日（8隻）
7月	28日（120隻）	3日（12隻）
8月	23日（98隻）	3日（12隻）
9月	7日（24隻）	0日（0隻）

※5月1日～9月10日迄の期間（133日）

ほぼ毎日（約9割）、中国船が尖閣沖を渡航していることを報じないTV
日本の脅威となってる事をなぜか問題視しないマスコミ

一面新聞

令和元年
9月13日(金)

発行者
D A P P I



第97号



報道回想録

注目のインターネット情報

虎ノ門ニュース（2019年9月5日 DHCテレビ） 中国は世界最低の国



虎ノ門ニュースで作家の百田尚樹氏と弁護士の北村晴男氏が中国について『世界最低の国』と猛批判した。
百田氏は「中国は世界最低の国。ウイグル・チベット・モンゴルにホロコースト以上かもしれない弾圧を現時点でやってる」という意見に対し、北村晴男氏は「そういう中国と金目当てで友好国としてやるのは本当にいいことで善なのか？よく考えるべき」とお金の為に中国の言動に目をつぶる行為に苦言。
また北村氏は「天安門事件後に日本はいち早く中国への経済制裁を解いたが、その結果、中国は日本の脅威になった。日本の善意の発想が全て裏目に出てる」と過去の日本の中国への姿勢にも苦言し、百田氏も「中国には恩も義理もない。日本から金を貰い、それで軍備を拡張し日本を脅かしてきてる」と中国の危険性を訴えた。

高市大臣 NHKをけん制



Dappi
@dappi2019

高市早苗「NHKは災害報道や良い番組を配給する使命があるが、受信料は受益の対価ではない。NHKの業務をしっかりと維持するために皆様が負担してる。受信料の意義と公共放送の意義を正しく発信すべき」

職員の給料は約1200万・内部留保は約1兆・報道は偏向
のNHKに早速ジャブを打つ高市大臣が頼もしい



午後0:36 · 2019年9月12日 · Twitter Web App

2019年9月12日 総務大臣就任会見